

**運用マニュアル**  
**<H27年度継続運用版>**

0. マッチングシステム運用概観	3頁
I. 初めに	6頁
II. 準備	9頁
III. 使う	12頁
IV. こんな時、どうする？	30頁
V. 困ったら	36頁

# 0. マッチングシステム 運用の概観

## I 初めに

I. マッチングシステムってどんなシステムなんだろう？

I-1. マッチングシステムとは、こんなシステム

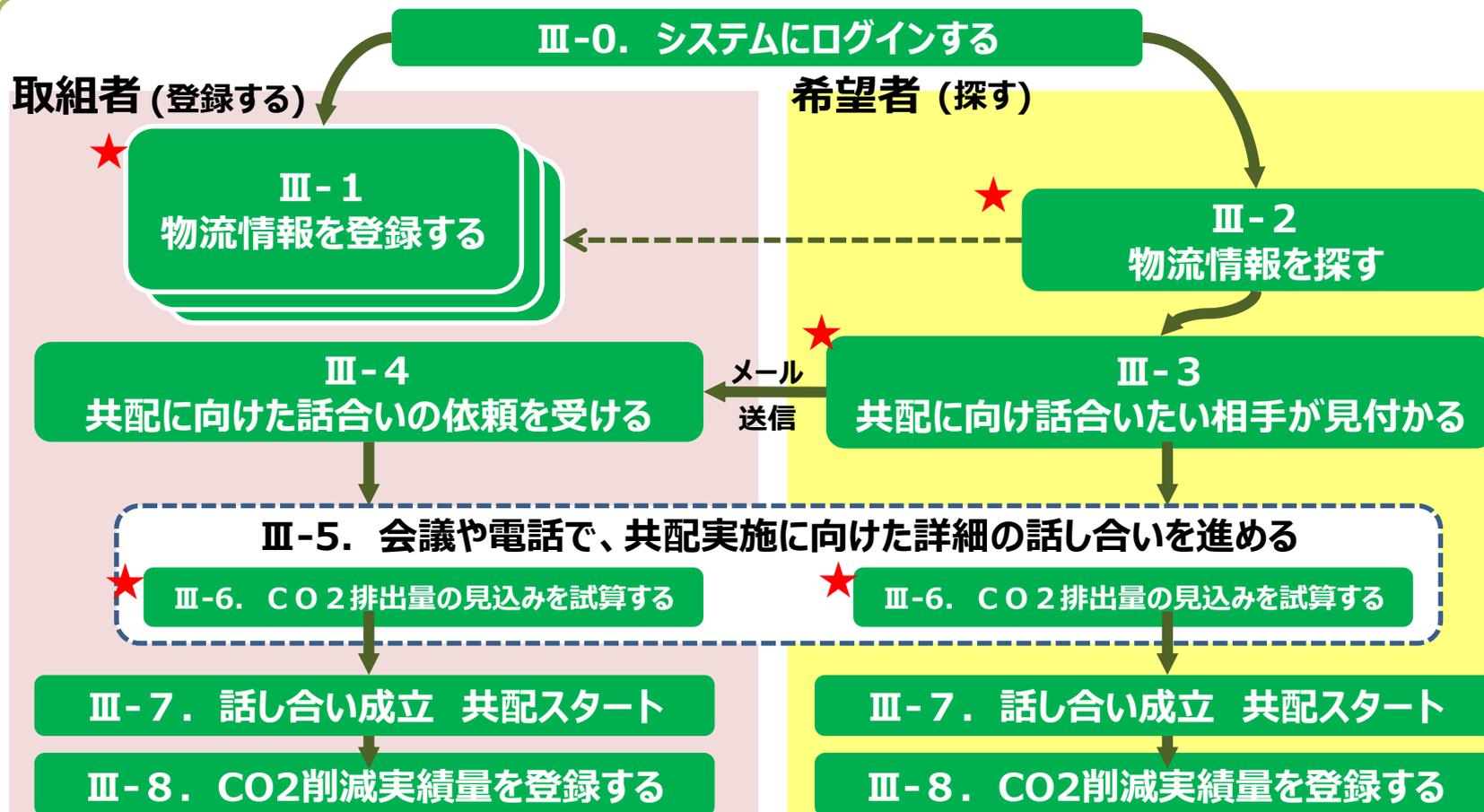
I-2. 求貨求車システムとの違いは何？

## II 準備

II-1. インターネットに繋がるパソコンがある事を確認する。

★ II-2. ユーザー情報・拠点情報の事前登録を依頼する。

## III 使う



# 検証用マッチングシステムの運用概観

## IV. こんな時、どうする？

IV-1. 登録した情報を、削除したい

IV-2. 登録した情報を、編集したい

IV-3. 複数の企業と共配を検討したい。  
例)自社の貨物と、A企業の貨物・B企業の貨物、  
3社で共配実現に向け検討したい

IV-4. 共配の話合いに向けメール送信をしたが、話し合いを取りやめたい

IV-5. 共配の話合いに向けメールを受信したが、話し合いを断りたい

IV-6. 共配の話合いを進めたが条件が合わないので、両者合意のもと、  
話し合いを中止する事とした

IV-7. 共配の話合いを進め、複数の相手と成立した  
例)貨物情報を10t分で登録したが、話し合いで成立したのが  
5t分/3t分/2t分で3者の別々の相手となった

IV-8. 共配の話合いを進め、自身が登録した情報の一部で  
話し合いが成立した。  
例)貨物情報を10t分で登録したが、話し合い成立したのが  
4t分だった。残り6tは成立しなかった。

## IV

こんな時  
どうする？

## V

困ったら

V. 運用サポートセンターへの問合せ

※富士通総研

# I . 初めに

# I. 初めに 1. マatchingシステムとは？

共同輸配送はCO2排出量を削減する為の重要な施策のひとつです。  
実現に向けては、貨物を持っているもの同士、あるいは貨物を持っている者と車両等を持っている者で、十分に話し合いをしなければなりません。

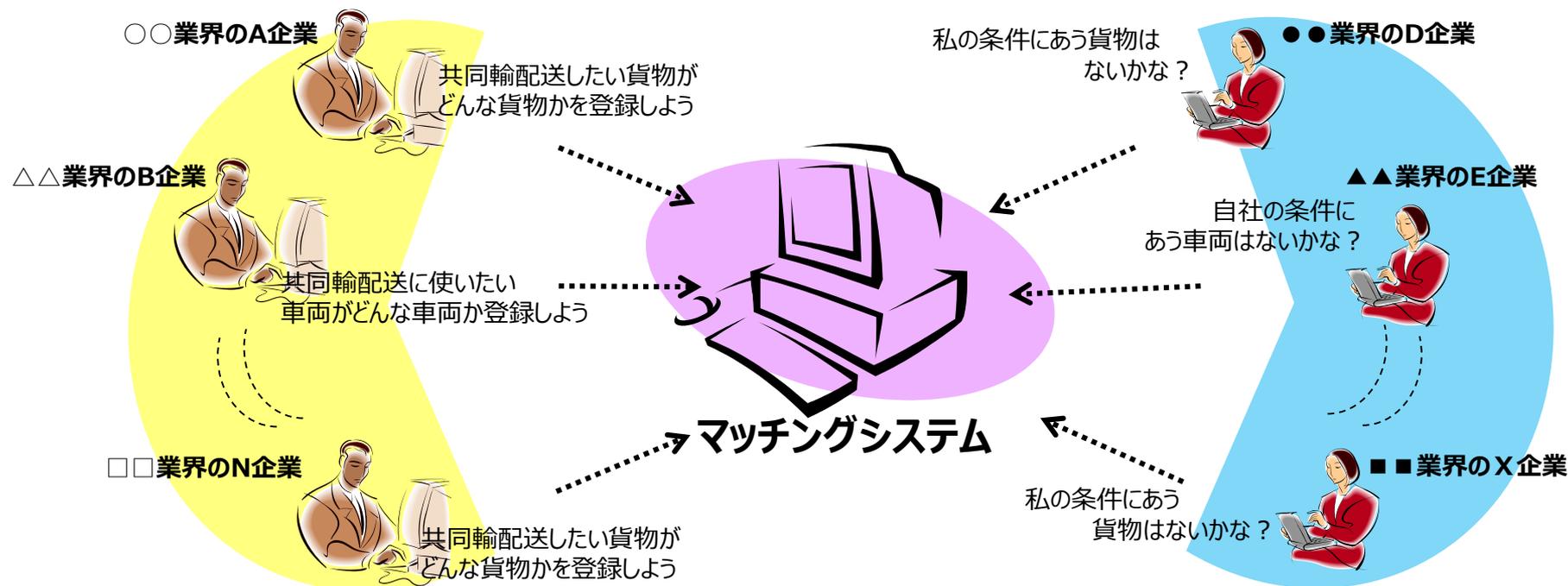
しかし平成25年度環境省で実施した『物流分野に於けるCO2削減ポテンシャル等に関する調査』では、多くの企業が共同輸配送の重要性を認識してはいるものの、そもそもその**相手企業との出会いの場そのものが少ない**(特に異業種)事が共同輸配送が実現できない理由として多く聞かれました。

これを受けて今回ご提供をするMatchingシステムは、**出会いの場を提供する**事を目的として作られた情報システムです。

Matchingシステムには**様々な業界の方が**、貨物や車両等の情報を登録しています。  
同業界でも今まで出会う事が出来なかった企業、異なる業界で今まで出会う事ができなかった企業の貨物や車両等の情報を確認する事で、**共同輸配送検討の第1歩**である企業間の出会いを提供する事を目的としています。

## 【情報を登録する(取組者)】

## 【情報を探す(希望者)】



## ①情報システムの目的

求貨求車システムは、主に、**日々の実務**の中で、**物流データ個々のマッチングをする**事がシステムの目的です。

一方マッチングシステムは、共同輸配送に向け**中長期に亘りともに検討できるパートナーと出会い、話し合いの場に繋げる**事が目的ですので、登録に必要な情報には料金や地番までの住所等もなく、具体的な話し合いは出会った後の企業間の個別の話し合いに委ねています。

## ②活用者の目的

求貨求車システムは主に各企業の損益向上の為に活用されていますが、マッチングシステムは共同輸配送促進による**CO2排出量削減**を最終ゴールとしていますので、CO2削減実績量の登録をして頂く事をお願いしています。

## ③マッチングのやり方

既に様々な求貨求車システムがあります。例えば現在の活用されている求貨求車システムには次の様なものがあります。

(方式)	(内容)
運営スタッフ型	求車情報と求貨情報を、コーディネーターがマッチング。
自動マッチング型	求車情報と求貨情報を完全自動でマッチング。
掲示板型	車両/または貨物を探している企業が、掲示板に登録されている情報の中から自身で探し出すタイプ

マッチングシステムは掲示板型で、自動マッチングもコーディネーターも存在しません。詳細な調整は、出会った企業同士の話し合いで対応して頂く事となります。

## 【求貨求車システムとマッチングシステムとの違い】

	システムの目的	活用者の主な目的	マッチングのやり方
求貨求車システム	日々の物流データ個々のマッチングを支援	損益向上	自動マッチング機能やコーディネーターによる支援
マッチングシステム (本事業)	中長期に亘って付き合えるパートナー企業との出会いを支援	CO2排出量削減	企業同士で話し合い

## II. 準備



### 1. インターネットに繋がるパソコンがある事を確認する。

マッチングシステムは、インターネットを介して利用します。インターネットに繋がるパソコンがある事を確認して下さい。

### 2. ユーザー情報の事前登録を依頼する。

マッチングシステムを利用する為に、ユーザーを事前に登録しておく必要があります。

※ユーザーは、このマッチングシステムをログインし活用する単位となります。

次の項目を、サポートセンター宛にメールで連絡して下さい。

※サポートセンターのメールアドレス：fri-moe@cs.jp.fujitsu.com

頂いた情報をサポートセンターでマスター登録した後、ログイン時に必要なパスワードを折り返し連絡させていただきます。

連絡いただく項目	必須	備 考
①企業名	<input type="radio"/>	他のマッチングシステム利用者が、貴社の事業内容等をインターネットで検索する事もありますので、正式な企業名称で連絡下さい。(略称などは負荷)
②部署名		・組織体制や顧客が伺える部署名のため公表を差し控えたい場合は、連絡不要です。
③電話番号	<input type="radio"/>	・部署直通の電話番号(無い場合は会社代表の電話番号でも可)を連絡下さい。
④メールアドレス	<input type="radio"/>	・マッチングシステムにはメールを自動送信する機能がありますので、必須項目です。 ・個人のアドレスがない場合は、部署の代表メールアドレスでも問題ありません。
⑤個人名		・部署全体で共有し活用する場合は、個人名の連絡は不要です。 ・個人毎に活用し複数の個人ユーザーを登録したい場合は、メールアドレスも利用者個人毎(全員)のメールアドレスを連絡下さい。
⑥拠点名	<input type="radio"/>	そのユーザーが在籍している拠点名 (次頁の拠点所在地を登録するマスタの②)

## Ⅲ. 使う

Ⅲ-0. システムにログインする。	13頁
Ⅲ-1. 物流情報を登録する。	14頁
Ⅲ-2. 物流情報を探す。	16頁
Ⅲ-3. 話し合いたい相手が見つかる。	19頁
Ⅲ-4. 話し合いの依頼を受ける。	21頁
Ⅲ-5. 詳細の話し合いを進める。	23頁
Ⅲ-6. 共配実施後のCO2排出量見込みを試算する	24頁
Ⅲ-7. 話し合い成立 共配が始まる。	27頁
Ⅲ-8. CO2削減実績量を登録する。	28頁

## Ⅲ-0. システムにログインする。

- インターネットに繋がるパソコンから、マッチングシステムのURLを指定しログインします。
  - ※URL : <https://www.ecomatching.jp/>
  - ※URLをお気に入り登録しておくとう便利です。
- ログインの際、次の入力が必要です。
  - ・ユーザーID      ・パスワード
- ユーザーID・パスワードは、サポートセンターより連絡を受けた内容を入力して下さい。
- システム利用は何時でもできます。(24時間OK)
- ユーザーID・パスワードを忘れた場合は、サポートセンター宛に連絡をして下さい。
  - ※サポートセンターのメールアドレス : [fri-moe@cs.jp.fujitsu.com](mailto:fri-moe@cs.jp.fujitsu.com)



ここに『ユーザーID』『パスワード』を入力して下さい。



これはイメージです。実際の画面と異なる部分があります。

## Ⅲ-1. 物流情報を登録する

- 登録情報は、2種類あります。貨物情報と輸送ネットワーク情報の2種類です。
  - 登録は何時でもできます。(24時間OK)
  - 皆さんの登録情報を見て、他の利用者の方が共配に向けた話し合いをするか検討をします。
- 
- 業種に係らず物流情報の登録ができます。荷主企業が輸送ネットワーク情報を登録しても、物流事業者が貨物情報を登録しても問題ありません。
    - ※ 自家物流をしている荷主が車両情報を登録する
    - ※ 3PL事業を展開している物流事業者が貨物情報を登録する 等々

オペレーションマニュアル 5頁

**共配したい貨物がある時**



**『貨物情報登録』画面**



**この様な場合は貨物情報の登録です。**

- ・自分の貨物があり、積合せできる貨物を持っている企業と出会いたい
- ・自分の貨物があり、その貨物を混載して運んでくれる車両を持っている企業と出会いたい。
- ・自分の貨物があり、その貨物を帰り便で運んでくれる車両を持っている企業と出会いたい。

**自分の貨物がどんな貨物なのかを登録して下さい。**

オペレーションマニュアル 9頁

**共配したい車両等がある時**



**『輸送ネットワーク情報登録』画面**



**この様な場合は輸送ネットワーク情報の登録です。**

- ・自分が運行させている車両に、積合せしてくれる貨物を持っている企業と出会いたい
- ・自分の運行させている車両の帰り便貨物がない。積載できる貨物を持っている企業と出会いたい。

**自分が運行させている車両がどんな車両なのかを登録して下さい。**

■ 登録した内容を変更したい場合、編集する事も可能です。・・・オペレーションマニュアル 13頁

■ 貨物情報・輸送ネットワーク情報ともに、ひとつの共通項目(OD情報)に対して、

- ・複数の貨物情報 (貨物の特性に関する情報)
- ・複数の輸送ネットワーク情報 (トラック等の特性に関する情報)

を登録する事が可能です。 この場合は、システムで自動発番されるID番号は、枝番号で分別されます。

■ 連絡先等を入力する欄に他の利用者の方への連絡事項として、『皆さんがどんな相手を探しているのか?』を選択して入力する欄があります。皆さんの情報を見て、他の利用者の方が共配を検討するにあたっての大切な情報となります。

貨物情報：『積み合わせできる貨物を探したい』『積み合わせできる車両を探したい』『幹線運行の往復化を検討したい(帰り便に積んで欲しい)』から選択。

輸送ネットワーク情報：『積み合わせできる貨物を探したい』『車扱いで積載できる貨物を探したい(帰り便への積載貨物)』から選択

なお自由入力欄も設けています。

オペレーションマニュアル 5頁

## 『貨物情報登録』項目

**共通項目**  
**貨物のODに関する情報**

- ・何処から何処へ (JISレベル)
- ・何時から何時 (期間やサービスレベル)

**貨物情報**  
**貨物の特性に関する情報**

- ・品目(産業連関表レベル)
- ・物量
- ・その他特性(温度帯・臭い・汚れ・強度・庭先条件)

**自身の連絡先等に関する情報**

- ・企業名
- ・連絡先
- ・他の利用者への連絡事項

オペレーションマニュアル 9頁

## 『輸送ネットワーク情報登録』項目

**共通項目**  
**トラック等のODに関する情報**

- ・何処ら何処へ (JISレベル)
- ・何時から何時 (期間やサービスレベル)

**輸送ネットワーク情報**  
**トラック等の特性に関する情報**

- ・サイズ(車種等)
- ・積載空き物量
- ・その他特性 ( 温度帯・臭い・汚れ・設備特性 )

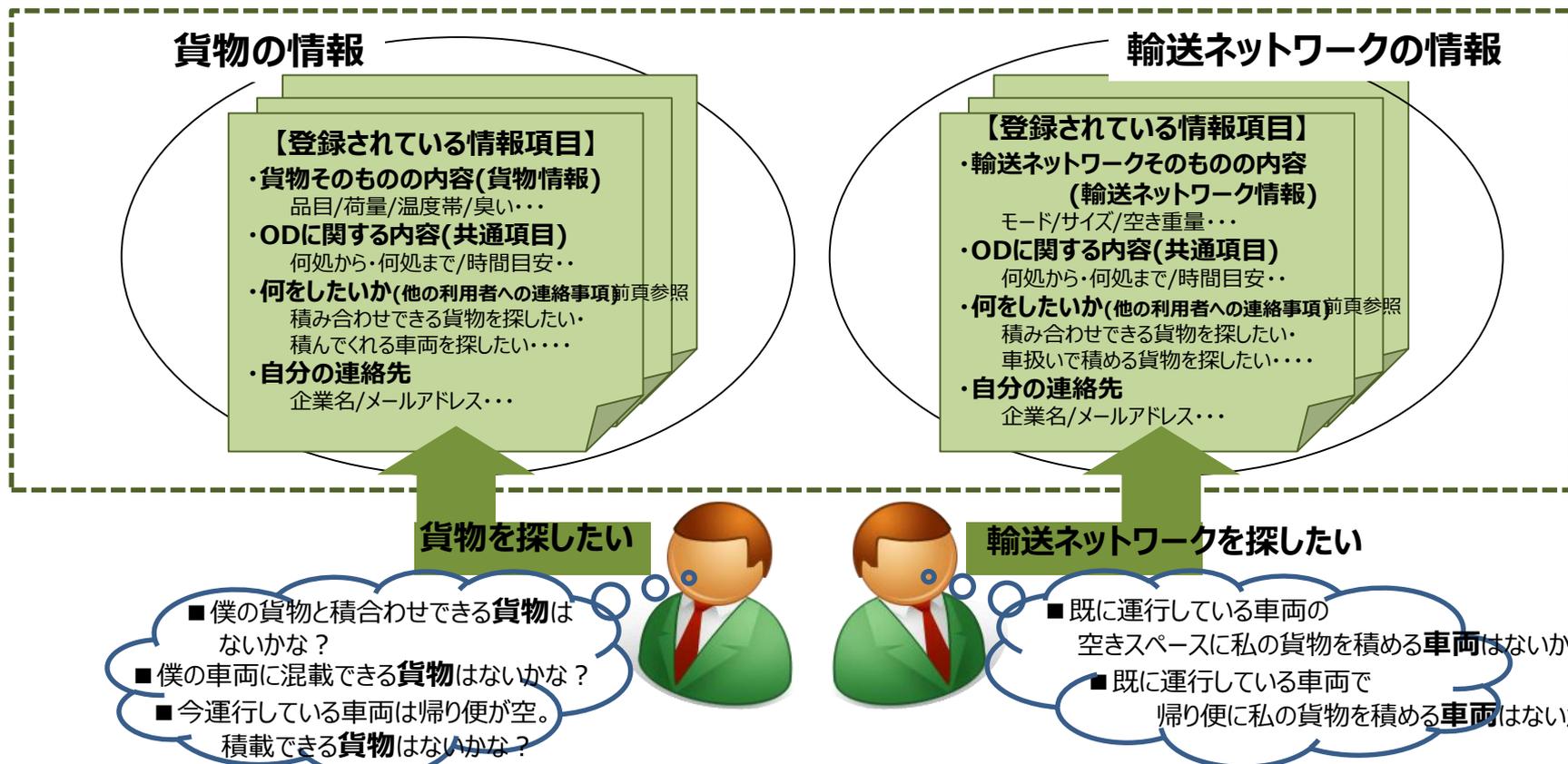
**自身の連絡先等に関する情報**

- ・企業名
- ・連絡先
- ・他の利用者への連絡事項

- 貨物を探したい場合は貨物情報から、車両等を探したい場合は輸送ネットワーク情報から、欲しい情報を探して下さい。
  - ・探し出す対象は、登録されている物流情報全てです。但しログイン時点で既に実施期間が過ぎている情報は表示されません。
  - 注)実施期間を過ぎた情報に関して確認したい事項がある場合は、サポートセンター宛連絡ください。
  - ・皆さんの最終ログイン後に新たに登録された情報には『NEW』が表示されます。

- 情報の探し方には、次の2つの方法があります。(オペレーションマニュアル 16 19頁)
  - ・条件指定検索：検索の条件を個別に指定し、登録されている全情報の中から該当する情報を抽出し探し出す。
  - ・特定情報検索：皆さんの拠点所在地に係わる貨物情報(発地、あるいは着地に拠点所在地が含まれる)のみを抽出し、その中から探し出す。

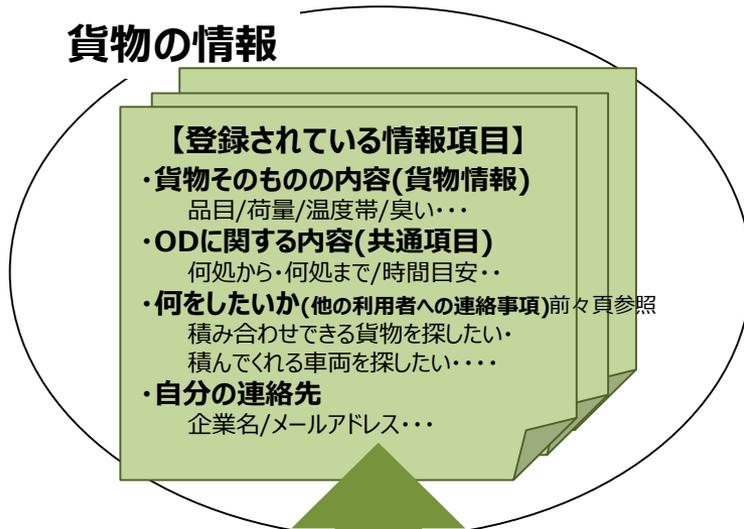
- 皆さんが見ている情報がどういう状況なのか、『交渉状況』でわかる様にしています。
  - 新規登録：登録した直後は、この交渉状況表示です。また、まだ話し合いをしている相手がない場合もこの交渉状況表示です。
  - 交渉中：誰か他の利用者の方と話し合いを進めている場合は、この交渉状況表示となります。
  - 成立済：話し合いが纏まり既に共配がスタートしている場合は、この交渉状況表示となります。



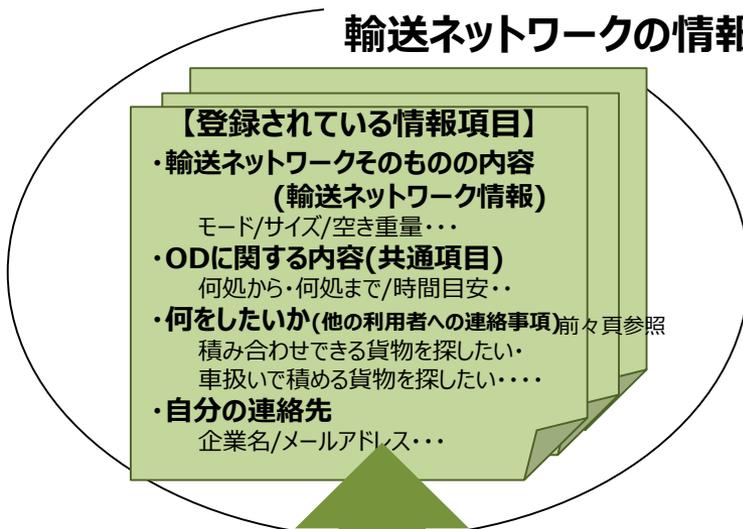
## Ⅲ-2. 検索機能を使って、物流情報を探す

- 検索機能を活用すると、より早く欲しい物流情報が探せます。  
物流情報登録項目の内容を指定し、指定した内容に合致する物流情報のみを絞り込み表示する機能です。
- 都度検索内容を設定する方法に加え、検索内容を事前に固定条件として登録しておく検索機能も用意しています。

### 貨物の情報



### 輸送ネットワークの情報



### 情報項目の内容を絞り込み検索

### 情報項目の内容を絞り込み検索

絞り込み例

- 臭いのない貨物はないかな？  
『臭い』がない貨物を絞り込んで検索しよう。
- 僕の車両に混載できる貨物を探したい。  
『自分の貨物を混載してくれる車両を探している』人はいるかな。  
登録した人の連絡事項(他の利用者への連絡事項)に、『積んでくれる車両を探している』と登録している人がいないか検索してみよう。



希望者



絞り込み例

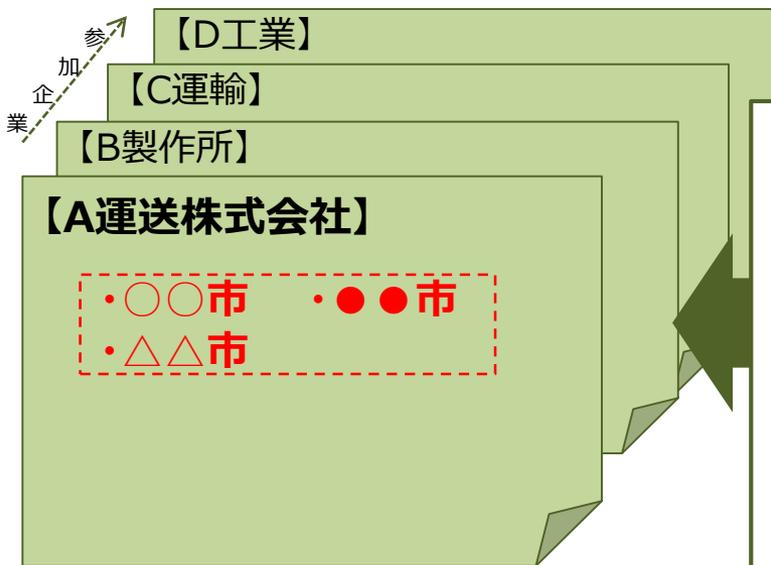
- 大阪から福岡まで運行しているトラックで僕の貨物を混載してくれるトラックはあるかな？  
『発地』『着地』で絞り込んで見よう。
- 来月から東京向けの貨物の出荷が始まるな。その貨物を帰り便に積んでくれる車両はあるかな？  
登録した人の連絡事項(他の利用者への連絡事項)に、『車扱いで積める貨物を探している』と登録している物流事業者がいないか探してみよう。

- 特定情報とは、皆さんの拠点所在地に係わる貨物情報のみが抽出され一覧表示される貨物情報の事です。皆さんとマッチングする可能性が高い情報のみを優先的に容易に確認する事ができます。
- 抽出は、システムで自動で行われます。(抽出の為に、皆さんが都度行う作業はありません)  
※但し事前に皆さんの拠点所在地をマスタ登録しておく必要はあります。(『Ⅱ. 準備-3』参照)

【検索機能を使って探す場合(前頁)との比較】

	<探す対象となる情報>	<皆さんの操作>	<特徴>
条件指定検索を使って探す :	登録されている貨物/輸送ネットワーク情報	検索条件を個別に指定	各シーンに合わせ柔軟に検索条件が設定可
特定情報を使って探す :	登録されている貨物情報	無し (システムで自動抽出)	スピード感をもった検索が可能

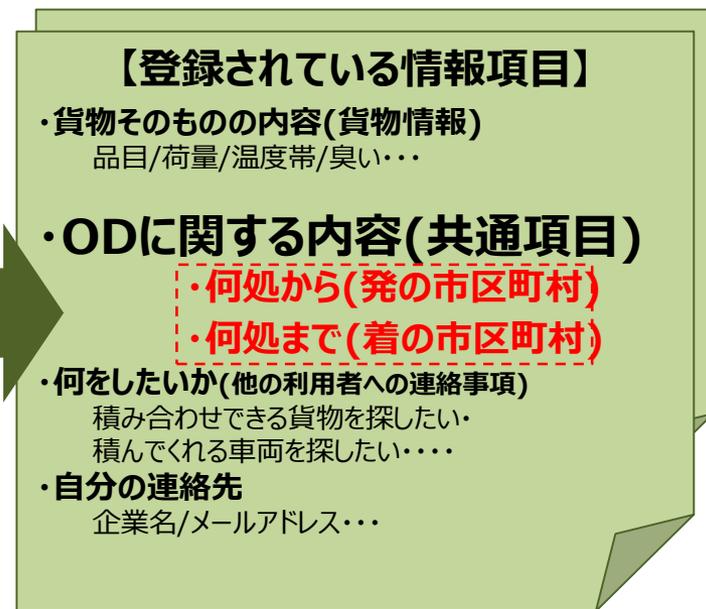
## 参加企業の方々の拠点がある所在地を事前登録



**発・着の何れかの  
市区町村が合致  
する情報を抽出  
(自動)**



## 他の参加企業の方が登録した貨物情報



- 共配実施に向けて具体的な話し合いを進めたい相手(情報)が見つかったら、話し合いをしたい相手にメールを送信します。メールはシステムから自動送信されます。
- 話し合い依頼のメールは、物流情報単位の発信となります。  
他の利用者の方が登録した物流情報単位の皆さんが話し合いをしたい情報を見つけ、その見つかった物流情報に対して、話し合い依頼をするという形式です。  
※一括して企業宛てに送信するという形式ではありません。
- システムから自動送信されるメールは、皆さん自身にもCC(写し)で入ります。

#### 【システムから自動送信されるメール】

あて先	<input type="text"/>	← 話し合いたい相手のメールアドレスが自動で入ります。
Cc	<input type="text"/>	← 皆さん自身のメールアドレスが自動で入ります。
件名	<input type="text"/>	← 『マッチングのご検討について』と自動表示されます。(編集可)
本文	<p><input type="checkbox"/>物流 <input checked="" type="checkbox"/>××様</p> <p>マッチングを依頼する物流情報ID : K000001-001 (話し合いたい相手の物流情報IDです) 依頼者の物流情報ID : Y000178-001 (皆さん自身の物流情報IDです)</p> <p>(メッセージを任意入力)</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"><p><b>メール送信前に自由にメッセージを入力することができます。</b></p></div>	

### Ⅲ-3. 話し合いたい相手が見つかる

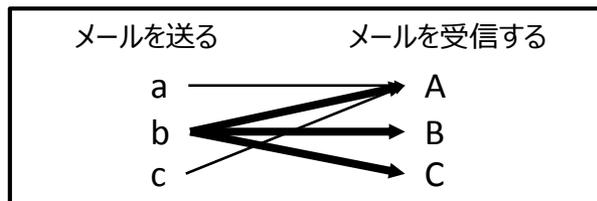
- 共配を検討したい『皆さん自身の物流情報（貨物情報、又は輸送ネットワーク情報）』の登録がなされていない場合は、メール送信はできません。

物流情報の登録がまだの場合は、皆さん自身の物流情報(メールを送信する相手と共配を検討したい情報)を必ずメール送信前に登録して下さい。

※マッチングシステムでは、話し合いを希望する方と希望を受ける方、各々の物流情報を紐付けて管理します。  
また相手がメールを受信した段階で即座に皆さんの情報を確認する必要があるからです。

- メールは複数の相手(情報)に送信する事もできます。

皆さん自身が登録した情報個々に関し、一人の話し合い相手(情報)にしか送信できない様な制限はかけていません。但しメール送信の操作は、一回ずつとなります。



例)皆さんが登録したbという情報に関して  
複数の話し合いをしたい相手の情報(A・B・C)に  
メールを送信する事ができます。

- 情報の交渉状況が『新規登録』・『交渉中』になっている相手(情報)には送信できます。

交渉状況が『成立済』になっている相手(情報)には送信できません。

※交渉状況が成立済の情報には、既に共配がスタートしています。

※交渉状況表示については、本マニュアルに『Ⅱ-2. 物流情報を探す』を参照して下さい。

- 既に他の相手と共配に向けた検討をしても(皆さん自身の情報の交渉状況が『交渉中』)、  
また『成立済』前であればメールを送信する事はできます。

つまり共配がスタートする前であればメール送信可能です。

- メールを送信した段階で、皆さん自身(希望者)が登録した物流情報の交渉状況は、自動的に『新規登録』から『交渉中』に変わります。

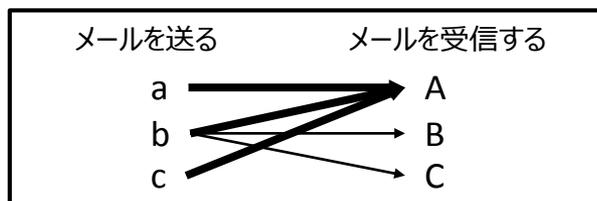
→既に『交渉中』になっている場合はそのままです。

- 共配実施に向けて皆さんと話し合いを進めたいと思っている他の利用者からのメールを受信します。
- メールには、次が書かれています。
  - ・他の利用者(送信者)が、皆さんが登録したどの物流情報と共配を検討したいのか。
  - ・他の利用者(送信者)が、自分自身のどの物流情報と共配を検討したいのか。
- メールを受信したら、メールに記載されている物流情報ID(皆さん自身の物流情報・他の利用者の方の物流情報)の内容を確認のうえ、メールを送信してくれた方に連絡を取ってください。
  - ・皆さんが受信メールはシステムから自動送信ですので、そのままの返信は出来ません。
  - ・メールで連絡したい場合は、受信したメールのCC欄に記載されているアドレスに送信して下さい。
  - ・電話で連絡したい場合は、送信者の方が登録している物流情報画面に登録されている番号に電話をして下さい。

## 【皆さんが受信するメール】

あて先	<input type="text"/>	← 皆さんのメールアドレス。
Cc	<input type="text"/>	← 話し合いを希望している他の利用者の方のメールアドレス(送信者)
件名	<input type="text"/>	
本文	<p>○□物流 ××様</p> <p><b>マッチングを依頼する物流情報ID : K000001-001</b> →他の利用者の方(送信者)が共配を検討をしたいと思っている 皆さんが登録した物流情報のID</p> <p><b>依頼者の物流情報ID : Y000178-001</b> →他の利用者の方(送信者)が共配を検討したいと思っている 他の利用者の方(送信者自身)が登録した物流情報ID</p> <p>(メッセージを任意入力)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>他の利用者の方からのメッセージが記載されている場合があります。</p> </div>	

- 皆さんが登録した物流情報個々に関し、一人の話し合い相手(情報)からしか話し合い依頼を受けられない様な制限はかけていません。  
つまり皆さんが登録した物流情報個々に関して、複数の他の利用者の方から話し合いの依頼を受ける(メール受信)事が可能です。



例) 皆さんが登録したAという情報に関して複数の話し合いをしたい他の利用者(a・b・c)からメールを受信する事ができます。

- 皆さんの物流情報の交渉状況が『新規登録』・『交渉中』の時は、他の利用者からの話し合い依頼のメールを受信する事ができます。

皆さんの物流情報の交渉状況が『成立済』になっている時は、他の利用者からの話し合い依頼のメールを受信する事はできません。

※交渉状況が成立済の情報には、既に共配がスタートしています。

※交渉状況表示については、本マニュアルに『Ⅱ-2. 物流情報を探す』を参照して下さい。

- メールを受信した段階で、皆さん自身が登録している物流情報の交渉状況は、自動的に『新規登録』から『交渉中』に変わります。

→既に『交渉中』になっている場合はそのままです。

## Ⅲ-5. 詳細の話し合いを進める

- 共同配送実現に向けた詳細の話し合いを進めます。  
注)話し合いは、システムではなく、電話や会議等で行います。
- 話し合いの結果、条件が合わず、共配実現に向けた打合せを取りやめる場合は、本運用マニュアルの
  - ・第IV章 こんな時どうする？
  - ・6項 共配の話し合いを進めたが条件が合わないので、両者合意のもと、話し合いを中止を確認して下さい。



# Ⅲ-6. 共配実施後のCO2排出量見込みを試算する

★(一部追加)

- 詳細の話し合いを進める中で、共配実施後のCO2排出見込み量を試算する事もできます。  
注1)あくまでも電卓としての試算です。何回でも試算はできます。  
話し合いの結果、実際に共配が成立した時のCO2削減実績登録には反映されません。  
注2)既にCO2排出量を算出できるシステムをお持ちの場合は、そのシステムをご使用頂いてもかまいません。
- 試算できるCO2算出方法は、次の通りです。
  - ・燃料法
  - ・燃費法
  - ・従来トンキロ法
  - ・改良トンキロ法
- CO2排出量算出に必要な距離(KM)を算出する機能があります。
  - ・燃費法やトンキロ法では、CO2排出量算出に距離(KM)が必要となります。
  - ・発地の市区町村(JIS)コードと着地の市区町村(JIS)コードを入力し、道なりの距離(KM)を算出できる機能がありますので、CO2排出量算出の際に活用して下さい。  
※但し北海道/沖縄等、陸路が困難な場合は直線距離を算出/表示

【 CO2算出法を選択。  
必要情報項目を入力の上共配実施後のCO2量見込みを試算 】

【按分についても試算環境を用意 ※按分の考え方は次頁参照】

ルート	輸送区間	ルート・区間別輸送距離 (Km)	荷主	重量 (トン)	トンキロ
1	区間1	10	1	2	20
			2	1	20
			3	1	20

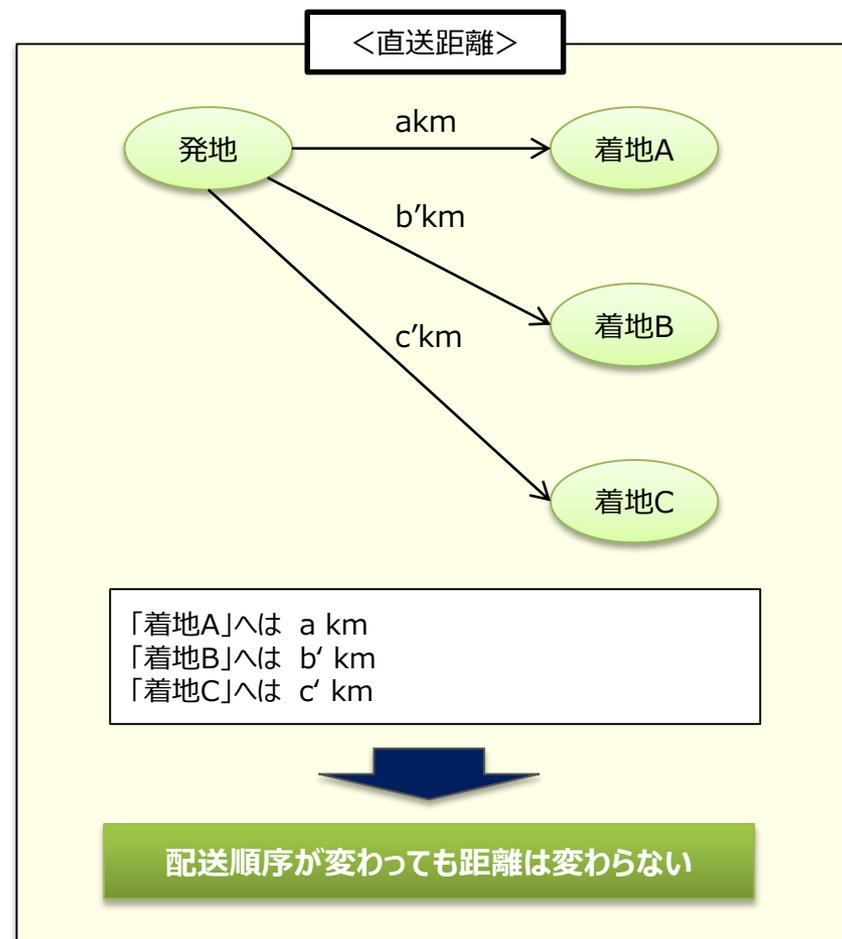
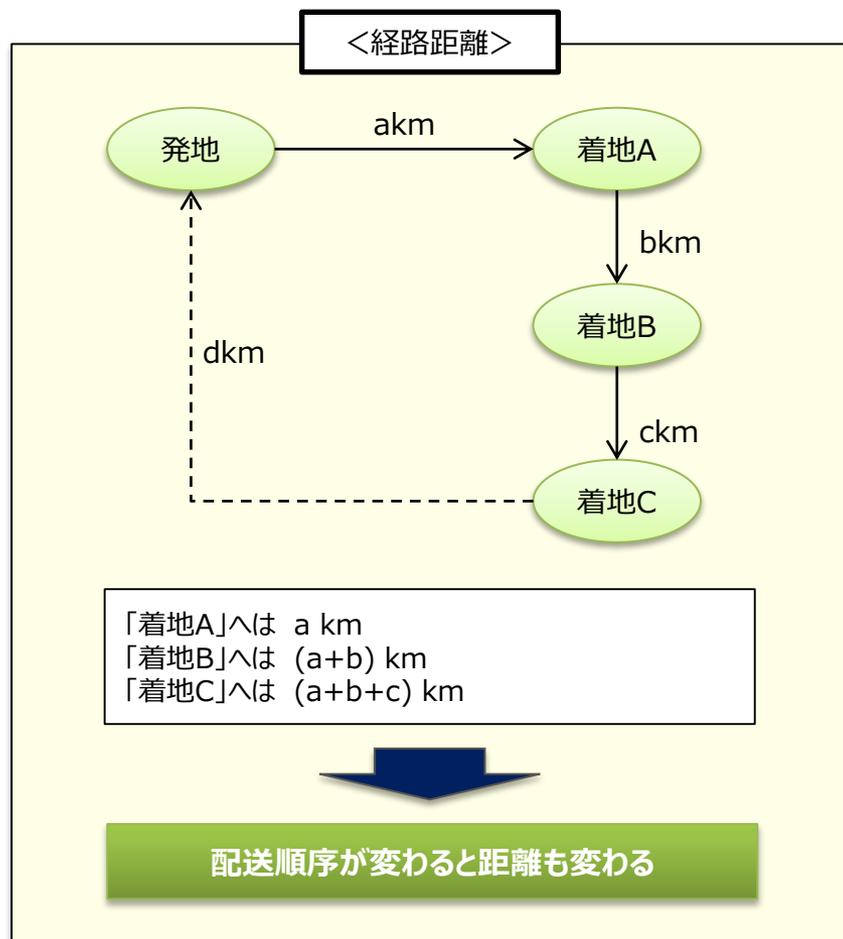
ルート・区間別荷主	割込率(%)	CO2排出量(t)
1	30	0.6
1	20	0.4
1	50	1.0

# ご参考 集配送の共同化の按分計算について (1/2)

(ガイドラインでの定義)

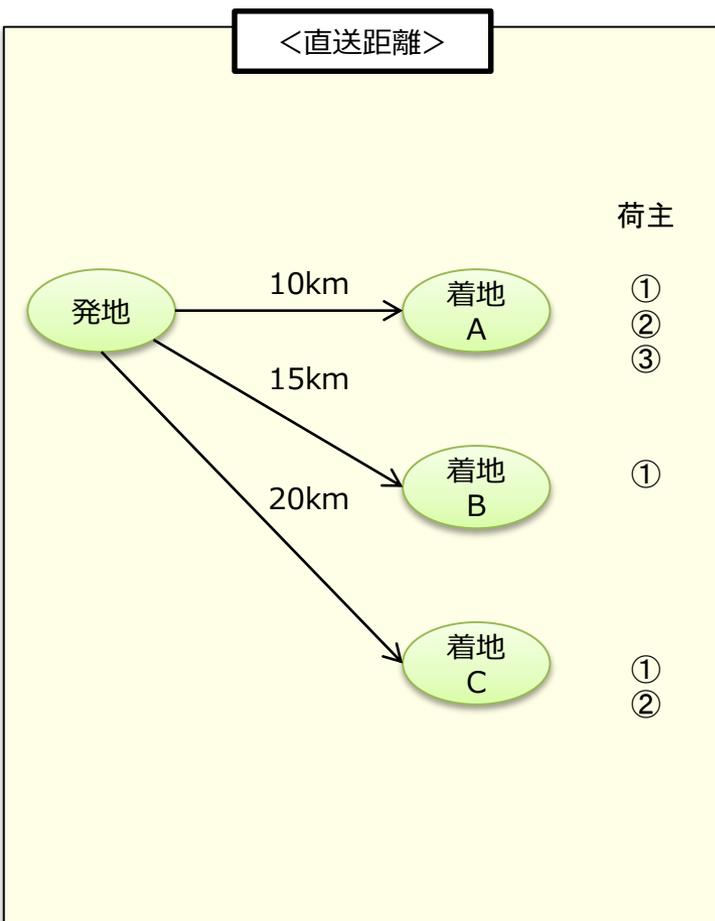
「貸切輸送」や「混載輸送の路線(幹線)」などの場合は、経路距離を用いることを標準とする。

「集荷・配送」においては、配達順序が荷主に影響することの無いよう、発着地点間の直送距離を用いることを標準とする。



# ご参考 集配送の共同化の按分計算について (2/2)

各区間の距離、荷主、貨物量 (トン) を入力して、トンキロをベースにした按分を行えます。



CO2排出量  t-CO2

赤枠部分をユーザが登録

ルート	輸送区間	ルート・区間別			
		輸送距離(km)	荷主	重量(トン)	トンキロ
1	発地→着地A	10	①	2	20
			②	1	10
			③	1	10
2	発地→着地B	15	①	1	15
3	発地→着地C	20	①	3	60
			②	2	40
合計		50		10	155

按分計算(トンキロ)

荷主別CO2排出量		
荷主	負担率(%)	CO2排出量(t)
①	61.3	30.645
②	32.3	16.129
③	6.5	3.226

※トンキロベースではなく、トンベースの案分を行う場合は、各区間距離を1で登録すれば計算可能。

## Ⅲ-7. 話し合い成立 共配が始まる

- 話し合いの結果、共配がスタートする事になった場合、その旨をシステムに登録する必要があります。この登録により、皆さんが登録した情報の交渉状況が『成立済』に変わります。
  - ※この登録をしなかった場合、皆さんが登録した情報の交渉状況は『交渉中』のままですので、他の参加企業の方々が共配を検討の候補情報として残ってしまいます。
  - ※物流情報の交渉状況については、本運用マニュアルの次を確認して下さい。
    - ・第三章 使う ・第2項 物流情報を探す
- 登録作業は、交渉中リストから成立した相手の情報を探し、ステータスを『成立』にするだけです。
  - ※この操作により、皆さんが登録した情報の交渉状況が自動的に『成立済』に変わります。
  - ※この操作により、相手に成立した旨のメールが、システムから自動送信されます。
    - なおこの自動メールは、皆さんにもCCで送信されます。
    - ※この操作により、複数の相手と話し合いを進めていた場合は、成立しなかった相手に他の方と成立したという内容のメールがシステムから自動送信されます。
    - なおこの自動メールは、皆さんにもCCで送信されます。
- 複数の相手と話し合いを進めていた場合、成立しなかった相手の情報は、ステータスを『否決』にして下さい。この操作で相手に他の相手と成立した旨のメールがシステムから自動送信されます。

【交渉中リスト】・・・皆さんが他の参加企業の方と話し合いを進めている情報の一覧です。

No	自分の物流情報ID	相手の物流情報ID	相手企業名	交渉発生日	交渉ステータス
1	K000101-001	Y000178-001	××産業	2014年11月28日	交渉中 ▼
2	K000101-001	Y000178-001	××産業	2014年11月28日	成立 ▼
3	K000101-001	Y000178-001	××産業	2014年11月28日	否決 ▼
4	K000101-001	Y000178-001	××産業	2014年11月28日	話合中止 ▼
5	K000101-001	Y000178-001	××産業	2014年11月28日	成立 ▼

戻る

ステータスを更新する

共配をスタートする事となった相手の情報のステータスを『成立』にして下さい。

## Ⅲ-8. CO2削減実績量を登録する

- このシステムの導入目的は、共配によるCO2削減の一層の拡大にあります。CO2削減実績を登録する事が、作業の完了となります。
- 『共配実施前のCO2排出量』と、『共配実施後のCO2排出量』を登録します。共配実施によるCO2削減量は、『共配実施前のCO2排出量』と『共配実施後のCO2排出量』の差量です。この差量はシステムで計算されます。  
 ※本年度、試行期間中に共配がスタートできていない場合は、登録は必要ありません。

No	自分の物流情報		マッチングした物流情報		CO2 排出量(t-CO2)			
	ID	期間	ID	企業名	算定手法	マッチング前	マッチング後	増減量
1	<a href="#">K000003-001</a>	2015年10月7日 ~	<a href="#">Y000002-001</a>	〇〇運送	改良 トンキロ法 <input type="button" value="v"/>	3	2	-1
2	<a href="#">K000001-001</a>	2015年10月7日 ~	<a href="#">Y000001-001</a>	△△企業	燃費法 <input type="button" value="v"/>	10	8	-2
3	<a href="#">K000002-001</a>	2015年10月8日 ~	<a href="#">Y000001-001</a>	△△企業	燃料法 <input type="button" value="v"/>	7	6	-1

ここに『共配実施前のCO2排出量』と『共配実施後のCO2排出量』を登録

## Ⅲ-8. CO2削減実績量を登録する

### ① 共配実施によるCO2削減量合計について

共配は複数企業の協力で実現・開始されます。

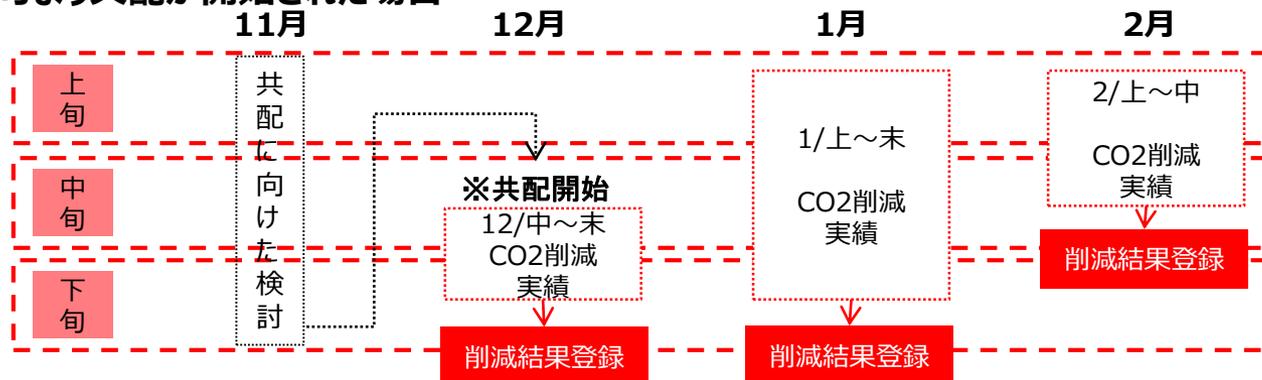
試行期間中のCO2削減実績量は、その複数企業のCO2排出実績の合算値で把握をします。



### ② CO2削減実績の登録タイミングについて

試行期間中のCO2削減結果登録は、月末時点での登録をお願いします。(2月は2/12試行最終日に登録)  
登録開始は、共配が開始された月の月末時点から登録をお願いします。

例) 12月中旬より共配が開始された場合



### ③ CO2削減量の算定方法について

共配を開始した企業毎にCO2算定方法を個別に採択する事は可能です。

但し企業間の登録値精度バラツキを軽減すべく、改良トンキロ法に統一した登録の可否につき  
ご検討をお願いします。

## IV. こんな時、どうする？

- |   |     |
|---|-----|
| IV-1. 登録した情報を、削除したい   | 31頁 |
| IV-2. 登録した情報を、編集したい   | 31頁 |
| IV-3. 複数の企業と共配を検討したい。<br>例)自社の貨物と、A企業の貨物・B企業の車両、<br>3社で共配実現に向け検討したい                                 | 32頁 |
| IV-4. 共配の話合いに向けメール送信をしたが、話し合いを取りやめたい  | 33頁 |
| IV-5. 共配の話合いに向けメールを受信したが、話し合いを断りたい  | 33頁 |
| IV-6. 共配の話合いを進めたが条件が合わないので、両者合意のもと、<br>話し合いを中止する事とした  | 34頁 |
| IV-7. 共配の話合いを進め、複数の相手と成立した<br>例)貨物情報を10t分で登録したが、話し合いで成立したのが<br>5t分/3t分/2t分で3者の別々の相手となった             | 34頁 |
| IV-8. 共配の話合いを進め、自身が登録した情報の一部で<br>話し合いが成立した。<br>例)貨物情報を10t分で登録したが、話し合い成立したのが<br>4t分だった。残り6tは成立しなかった。 | 35頁 |

## IV. こんな時どうする？

オペレーションマニュアル 12頁

### 1. 登録した 情報を削除したい

情報を登録した取組者(登録者)のみ削除が可能です。

- ①共同輸配送に向けて話し合い中の相手がいる場合は、システムで情報を削除する前に、相手に電話等で削除する事を連絡します。
- ②その後、システムで情報を削除します。  
なお話し合い中の相手がいる場合は、その相手全員に、削除した事を知らせるメールがシステムから自動送信されます。
- ③削除してしまうと希望者からも情報が見えなくなります。

オペレーションマニュアル 12頁

### 2. 登録した 情報を編集したい

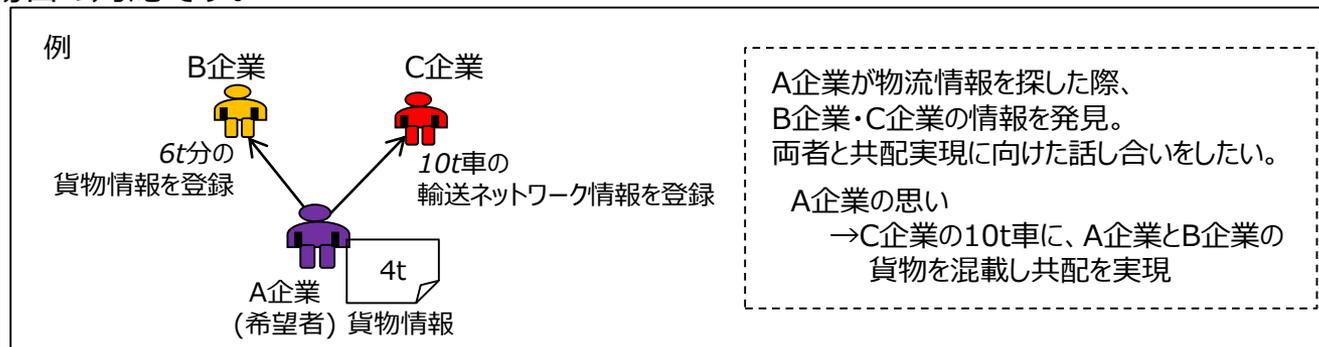
情報を登録した取組者(登録者)のみ編集が可能です。

- ①共同輸配送に向けて話し合い中の相手がいる場合は、システムで情報を編集する前に、相手に電話等で編集する事を連絡します。
- ②その後、システムで情報を編集します。  
なお話し合い中の相手がいる場合は、その相手全員に、編集した事を知らせるメールがシステムから自動送信されます。 ※編集した内容はメールには記載されていません。

## IV. こんな時どうする？

オペレーションマニュアル 26頁

自社で登録している情報の共同輸配送検討にあたって、複数の取組者と検討をしたい場合の対応です。



①複数企業と共配を実現したいと思った希望者は、各々の相手企業担当者宛にメールを送信します。(システムから自動送信)

なおメールは、話し合いをしたい相手企業 個々への送信となります。

注1)上図の場合、A企業からB企業宛、A企業からC企業宛に2通のメールが別々に自動送信されます。

注2)B企業・C企業にとっては、A企業が3社で共配を検討したいと思っている事は、自動送信されるメールのままではわかりません。

②複数企業で共配を実現したいと思っている事を相手企業に伝えるため、コメントを入力しメール送信して下さい。

注3)マッチングシステムから自動送信されるメールは、コメントを入力する欄を設けています。メール送信ボタンを押す前であれば、コメント入力ができます。

コメント入力 例)

- ・共配を検討させて頂くにあたり、貴社/弊社に加え、もう1社加えて(合計3社)、話し合いをしたいと考えています。なおもう1社の方にも既にメール送信済みで、情報のIDナンバーは別途ご連絡します。

③メール送信後、相手先企業と電話等で連絡を取り、複数者での具体的な話し合いを始めて下さい。

3.  
複数の企業と  
共配を検討したい。

## IV. こんな時どうする？

オペレーションマニュアル 29頁

4.  
話し合い依頼の  
メール送信したが、  
取り消したい

- ①システム上で話し合い中止の作業をする前に、メールを送信した相手(取組者)に、電話等で、取りやめたい事を連絡します。
- ②システムで話し合い中止の作業を行います。  
【希望者(話し合いをやめたい人)の作業】  
※交渉中リストより取りやめたい取組者の情報を選択し、ステータスを『話し合い中止』に手動でかえて下さい。  
(この場合、相手にメールの自動送信はありません)  
※この操作をすると、希望者が登録した情報の交渉状況は『新規登録』に戻ります。  
ただし、他に話し合い中の相手がいる場合は『交渉中』のままです。  
【取組者(連絡を受けた人)の作業】  
※交渉中リストより取りやめたいと連絡をうけた希望者の情報を選択し、ステータスを『話し合い中止』に手動でかえて下さい。(この場合、相手にメールの自動送信はありません)  
※この操作をすると、取組者が登録した情報の交渉状況は『新規登録』に戻ります。  
ただし、他に話し合い中の相手がいる場合は『交渉中』のままです。

オペレーションマニュアル 29頁

5.  
話し合い依頼の  
メール受信したが、  
断りたい

- ①システム上で話し合い中止の作業をする前に、メールを送信してきた相手(希望者)に、電話等で断りたいことを連絡します。
- ②システムで話し合い中止の作業を行います。  
【取組者(断りたい人)の作業】  
※交渉中リストより取りやめたいと連絡をうけた希望者の情報を選択し、ステータスを『話し合い中止』に手動でかえて下さい。(この場合、相手にメールの自動送信はありません)  
※この操作をすると、取組者が登録した情報の交渉状況は『新規登録』に戻ります。  
ただし、他に話し合い中の相手がいる場合は『交渉中』のままです。  
【希望者(断りの連絡をうけた人)の作業】  
※交渉中リストより取りやめたい取組者の情報を選択し、ステータスを『話し合い中止』に手動でかえて下さい。  
(この場合、相手にメールの自動送信はありません)  
※この操作をすると、希望者が登録した情報の交渉状況は『新規登録』に戻ります。  
ただし、他に話し合い中の相手がいる場合は『交渉中』のままです。

## IV. こんな時どうする？

オペレーションマニュアル 29頁

6.  
話し合い進めたが、  
条件が合わないので  
両者合意のもと  
話し合いを  
中止する事とした

システムで話し合い中止の作業を行います。

### 【希望者の作業】

※交渉中リストより取りやめたい取組者の情報を選択し、ステータスを『話し合い中止』に手動でかえて下さい。

(この場合、相手にメールの自動送信はありません)

※この操作をすると、希望者が登録した情報の交渉状況は『新規登録』に戻ります。

ただし、他に話し合い中の相手がいる場合は『交渉中』のままです。

### 【取組者の作業】

※交渉中リストより取りやめたいと連絡をうけた希望者の情報を選択し、ステータスを『話し合い中止』に手動でかえて下さい。(この場合、相手にメールの自動送信はありません)

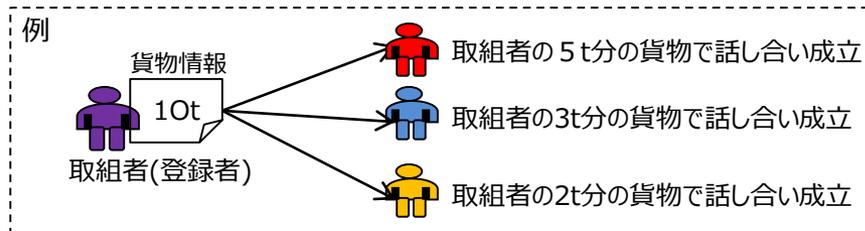
※この操作をすると、取組者が登録した情報の交渉状況は『新規登録』に戻ります。

ただし、他に話し合い中の相手がいる場合は『交渉中』のままです。

オペレーションマニュアル 29頁

7.  
共配の  
話し合い進め、  
複数の相手と  
話し合いが成立した

取組者(登録者)が例えば10t分の貨物情報を登録し、複数の相手と話し合いが成立した場合の対応です。



①交渉中リストは、複数の相手を選択し成立にする事は可能ですので、話し合いが成立した相手を全て選択し、ステータスを『成立』にして下さい。

※この際、取組者が登録している情報を改めて登録しなおす必要はありません。

例)上図の様な場合、登録している10tの貨物情報を削除し改めて5t/3t/2tの情報を登録しなおす必要はありません。

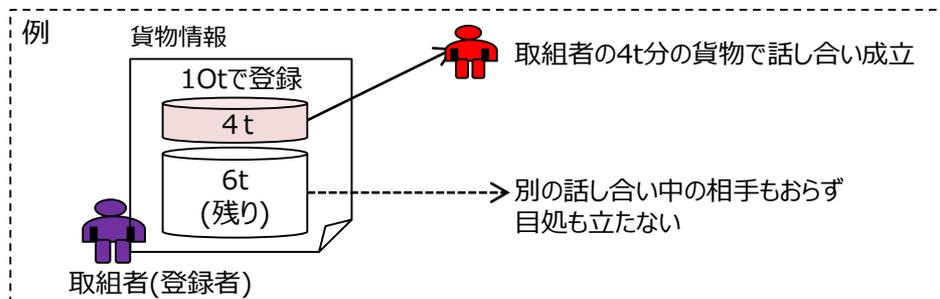
②但し共同輸配送が開始した後のCO<sub>2</sub>排出削減実績量登録は、成立した個々の相手単位に登録が必要となります。

## IV. こんな時どうする？

オペレーションマニュアル 29 4 8頁

8.  
共配の  
話し合い進め、  
登録情報の一部で  
話し合いが成立した。

取組者(登録者)が例えば10t分の貨物情報を登録したが、成立がその一部の荷量となった場合等の対応です。



- ①交渉中リストより、話し合いが成立した相手を選択し、ステータスを『成立』にして下さい。  
注1)この際、取組者が登録している情報を改めて登録しなおす必要はありません。  
例)上図の様な場合、登録している10tの貨物情報を編集し改めて4tに入力しなおす必要はありません。  
注2)残った部分を、引き続き対応をしたい場合は改めて物流情報を新規登録して下さい。  
例)上図の様な場合、残った6tで引き続きの対応をしたい場合は、改めて6tの物流情報を新規登録して下さい。
- ②但し共同輸配送が開始した後のCO<sub>2</sub> 排出削減実績量登録は、成立した実績での登録が必要となります。

## V. 困ったら

## ■ 運用サポートセンター 連絡先

メールアドレス : [fri-moe@cs.jp.fujitsu.com](mailto:fri-moe@cs.jp.fujitsu.com)

電話番号 : 03-5401-8394

担 当 : (株)富士通総研

ビジネスアナリティクス事業部

沖原 ・ 山根